

# 「とっておき、宮島。」

## 本プロジェクトの概要

島民の視点と想いから始まる「豊かな暮らしのあるまち」を目指し、**子どもたちとの交流、対話の場づくり**を通じた、地域の魅力や伝統を可視化・発信する。

## 主な活動

### 1. 宮島を知る

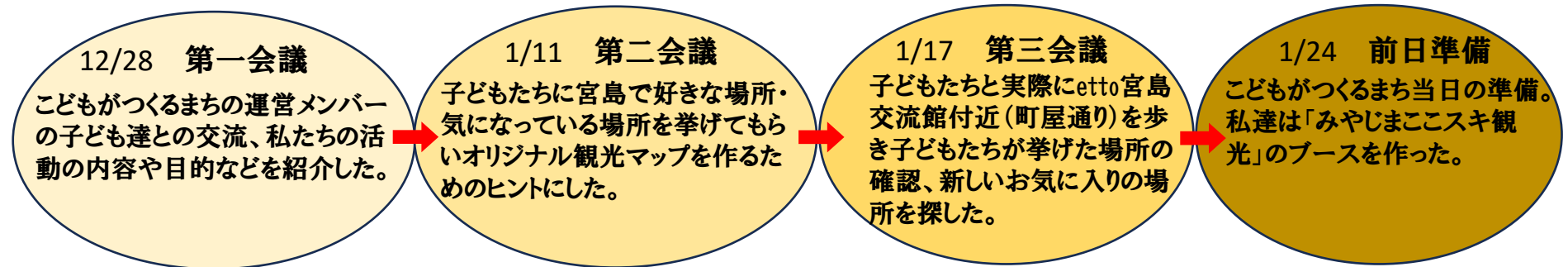
子どもたちに宮島の魅力や伝統を知ってもらうにはまず私たちが宮島について再確認しなければなりません。まずは学内で廿日市市宮島企画調整課の職員の方々と熟議や宮島まちづくり基本構想の熟読を行い、「観光地としての宮島」と「生活地としての宮島」の現状について学びました。

2025年7月にetto宮島交流館で開催された宮島地域円卓会議「若狭家のこれからを考える」、9月にゲストハウス三國屋で開催された「第5回ちゅうえマルシェ」などに参加しました。宮島の魅力や、宮島をさらに盛り上げようとしている島内外の人々の想いを再発見しました。



### 2. 子どもから見た宮島

株式会社inmeからのお声掛けで12月からは「2026みやじまこどもがつくるまち」に参画しました。宮島島内外の子どもたちは、宮島のどのようなものが魅力に感じるのか探るとともに、子どもたちが宮島をもっと好きになってくれるような活動を行いました。



1/25

## こどもがつくるまち本番開催！「みやじまこコスギ観光」の活動内容と成果

**活動内容** 「みやじまこコスギ観光」として当日に来場した子どもと一緒にetto宮島交流館周辺を観光するという活動を行いました。当日は3組の子ども達と保護者の方が観光に来てくださいました。子どもたちが行きたい方向を選ぶ形で観光をしました。

**成果** 3名のうち2名の子どもは山側の自然がある方に行きたがり、観光の中で一番印象に残ったものは何か尋ねると、「森の中の鹿」と答えました。また子どもや保護者に町屋通りや自然がある場所に来たことがあるか、と尋ねたところ、2名とも「来たことがない」と回答しました。ソースとしては少ないのでまだまだ調べる必要がありますが、子どもたちに宮島の自然や生活の魅力を伝えるにはまず子どもたちがその場所に行く機会をもっと設けなければいけないと感じました。最終的には来て下さった人は少ないですが、保護者の方からもご好評頂きました。

また、子どもたちが提示した場所をGoogle Earthでマッピングすることにより子どもから地域の魅力を可視化・発信する試みができました。

